

作成日 2016年10月27日
改訂日 2024年8月19日

1. 化学品及び会社情報

製品名	華の精
会社名	パレス化学株式会社
担当部門	技術部 第三研究グループ
作成部門	技術部 第三研究グループ
住所	神奈川県横浜市金沢区福浦1丁目11番16号
電話番号	045-784-7245
FAX番号	045-788-1928
緊急連絡先	技術部 第三研究グループ 045-784-7245
推奨用途及び使用上の制限	推奨用途：切花鮮度保持剤
整理番号	68150503-9

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分に該当しない

可燃性固体 区分に該当しない

金属腐食性化学品 分類できない

人健康有害性

急性毒性（経口） 区分5

急性毒性（経皮） 区分に該当しない

急性毒性（吸入：気体） 区分に該当しない

急性毒性（吸入：蒸気） 区分に該当しない

急性毒性（吸入：粉塵／ミスト） 区分に該当しない

皮膚腐食性／刺激性 区分3

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分に該当しない

呼吸器感作性 区分に該当しない

皮膚感作性 区分1

生殖細胞変異原性 区分に該当しない

発がん性 区分に該当しない

生殖毒性 区分に該当しない

特定標的臓器／（単回ばく露） 区分に該当しない(全身)

特定標的臓器／（反復ばく露） 区分に該当しない(全身)

環境有害性

誤えん有害性 分類できない

水生環境有害性 短期（急性） 分類できない

水生環境有害性 長期（慢性） 分類できない

オゾン層への有害性 分類できない

GHS要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ

軽度の皮膚刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

安全対策

- ・ 使用前に取扱説明書又はSDSを参照すること。
- ・ 涼しいところに置くこと。
- ・ 容器を密閉しておくこと。
- ・ 他の容器に移し替えないこと。
- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- ・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・ 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・ 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

- ・ 吸入した場合：気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して

いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

- ・皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
- ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- ・気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ・特別な処置が必要である。

保管

- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・日光から遮断すること。

廃棄

- ・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

一般名

企業秘密なので記載できない

危険有害性成分

労働安全衛生法(第57条の2)通知対象物質

対象名	含有率(%)
—	—

労働安全衛生法(第57条)表示対象物質

対象名	含有率(%)
—	—

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

対象名	管理番号	該当	含有率(%)
—	—	—	—

4. 応急措置

- 吸入した場合：新鮮な空気の場所に移す。身体を毛布などでおおい保温して安静を保ち、必要なら医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部又は接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水で洗い流す。
- 眼に入った場合：もし皮膚に痛みが残ったり炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。直ちに多量の水で数分間注意深く洗い、痛みや刺激が続く場合は医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合：コンタクトレンズ着用の場合は、外してその後も洗浄を続ける。水で口の中を洗浄する。多量の水を飲ませて、可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤：粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液。
- 消火を行う者の保護：消火作業の際には必ず適切な保護具を着用し、風上から実施する。
- 火災時の特有の危険有害：水分を含有しているため可燃性ではないが、水分が揮発すると可燃性となる。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：作業の際には必ず保護具を着用する。付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
- 環境に対する注意事項：河川、下水道等に排出されないように注意する。
- 封じ込め/浄化の方法/機材：少量の場合は、土砂、ウエス等で吸収させて回収し、その後をウエス等で完全に拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項

- ・吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。
- ・使用前にSDSを参照すること。
- ・接触、吸入又は飲み込まないこと。

注意事項

- : 取扱い後はよく手を洗うこと。
- : 用途以外には使用しないで下さい。
- : 製品が衣類等に付着するとシミになる事があります。衣服に付着しないようにしてください。
- : 使用後は必ず密栓し、冷暗所で幼児や子供の手の届かない所に保管して下さい。
- : 金属製容器は腐食するため、ご使用にならないで下さい。

保管

技術的対策、混触禁止物 : 容器は密栓して、換気良好な冷暗所に貯蔵する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 : 設定されていない
- 保護具 : 必要に応じて個人用保護衣、保護面を使用すること。
- : 必要に応じて個人用保護具を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 無色
- 臭い : あり
- 融点/凝固点 (°C) : データなし
- 沸点 (°C) : データなし
- 初留点 (°C) : データなし
- 沸騰範囲 : データなし
- 可燃性 : あり
- 爆発限界推定 (vol%) : 下限 : データなし
上限 : データなし
- 引火点 (°C) : 引火点なし
- 自然発火点 (°C) : データなし
- 分解温度 (°C) : データなし
- pH : 2.3
- 動粘性率 (mm²/s) : データなし
- 水に対する溶解性 : 可溶
- 有機溶剤に対する溶解性 : データなし
- n-オクタノール/水分配係数 : データなし
- 蒸気圧 (kPa) : データなし
- 密度 (g/cm³) 15°C : 1.18
- 相対ガス密度 : データなし
- 粒子特性 : データなし
- 流動点 (°C) : データなし
- 蒸発速度 (揮発性) : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性・化学的安定性 : 強酸化剤との接触を避ける。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報

- 急性毒性 (経口) : 区分5
急性毒性推定値 (経口) LD50(mg/kg) : 4700
- 急性毒性 (経皮) : 区分に該当しない
急性毒性推定値 (経皮) LD50(mg/kg) : 5000<
- 急性毒性 (吸入 : 気体) : 区分に該当しない
形状が気体ではないため
- 急性毒性 (吸入 : 蒸気) : 区分に該当しない
急性毒性推定値 (蒸気) LC50(mg/l) : 50<
- 急性毒性 (吸入 : 粉塵/ミスト) : 区分に該当しない
急性毒性推定値 (粉塵およびミスト) LC50(mg/l) : 12<
- 皮膚腐食性/刺激性 : 区分3
以下の物質を含む
(区分1), (区分2)
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分に該当しない

呼吸器感作性	: 基準濃度以下等のため : 区分に該当しない
皮膚感作性	: 基準濃度以下等のため : 区分1 以下の物質を含む (区分1)
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない 基準濃度以下等のため
発がん性	: 区分に該当しない 基準濃度以下等のため
生殖毒性	: 区分に該当しない 基準濃度以下等のため
特定標的臓器／(単回ばく露)	: 全身 区分に該当しない 基準濃度以下等のため
特定標的臓器／(反復ばく露)	: 全身 区分に該当しない 基準濃度以下等のため
誤えん有害性	: 分類できない データがないため

12. 環境影響情報

製品としての有害性情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- : 洗浄排水は、地面や排水溝へそのまま流さない。
- : 焼却する場合は産業廃棄物処理基準に従って焼却する。
- : 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
- : 投棄禁止。
- : 燃焼ガスには、一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物、塩素系ガス、窒素化合物、リン酸化合物等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。

14. 輸送上の注意

国際法規制

国内法規制

陸上

海上

航空

国連分類

国連番号

国連輸送名

注意事項

輸送の特定の安全対策及

び条件

- : 航空輸送は、IATA及び海上輸送は、IMDGの規則に従う。
- : 下記の輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
- : 消防法 非危険物
- : 船舶安全法 非危険物 個別運送およびばら積み運送において
- : 航空法 非危険物
- : 非該当
- : 非該当
- : 非該当
- : 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込む。
- : 輸送前に容器の破壊、腐食、漏れなどが無いことを確認する。
- : 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- : 該当法規に従い包装、表示、輸送を行う。

15. 適用法令

消防法

労働安全衛生法(第57条の2)通知対象物質

労働安全衛生法(第57条)表示対象物質

労働安全衛生法 危険物

有機溶剤中毒予防規則

- : 非危険物
- : 非該当
- : 非該当
- : 非該当
- : 非該当

特定化学物質等障害予防規則	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
化学物質審査製造規制法	: 特定化学物質、監視化学物質に該当せず
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物規則 (拡散、流出の禁止)

16. その他の情報

参考資料

- ・ 米国産業衛生専門家会議 : ACGIH (2008年度版)
- ・ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
- ・ 原材料のSDS
- ・ 日本産業衛生学会 「許容濃度の勧告理由書」
- ・ 化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂6版

本製品安全データシートに関する問合せ先

「1. 製品及び会社情報」に記載の連絡先にお問合せください。

* 本製品安全データシートの内容記載は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。

本製品を扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。

尚、本製品安全データシートは安全や品質の保証書ではありません。

— 以上 —